

平成27年度 神奈川県立二宮高等学校 不祥事ゼロプログラム

1 目標及び行動計画と実施状況

	取り組み課題	目 標 (達成すべき内容)	行動計画	実施状況
1	公務外非行の防止	日頃から教育公務員としての自覚をもって行動する。	(ア) 朝の打ち合わせや職員会議等で各種報道、資料等を活用し、具体的な事例を通して日常的に意識啓発、注意喚起に努める。 (イ) 相互点検、不祥事防止会議等を実施し、個々の職員のコンプライエンス（法令遵守）への認識を深める。 (ウ) 職員同士の声の掛け合い等コミュニケーションを積極的に行い、風通しの良い職場づくりに努める。	○公務外非行の具体的な新聞報道や県からの情報を朝の打ち合わせや職員会議で取り上げ、注意喚起と意識の啓発を行った。 ○不祥事防止会議では県からの資料等を使い、実際に起こった事例を担当教諭が発表し、自覚を深めた。 ○職員室等でお互いに声を掛け合い意思表示ができる風通しのよい職場環境づくりを心掛けた。
2	セクハラ、わいせつ行為の防止	人権及び男女共同参画等を踏まえ、セクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	(ア) 職員に携帯電話・電子メールの適切な使用、申請等を徹底する。 (イ) 教科準備室等の適切な使用をさらに徹底する。 (ウ) 職員だけでなく、生徒にもセクハラに対する意識付けを徹底し、学校全体としてセクハラ防止に努める。 (エ) 不適切な言動に対して、職員間相互で注意できる人間関係を構築する。	○メール、ライン等の不祥事、事故を全職員に報告し、その正しい使用の仕方や事故に関する規範意識を高めることにより不祥事防止に努めた。 ○管理職等による校内巡回を行い、準備室等の確認をした。 ○不祥事防止会議等で県等の関係資料を使って研修を行い、セクハラ、パワハラについて職員の認識を深めた。
3	体罰、不適切指導の防止	生徒の人権を尊重し、「体罰防止ガイドライン」を遵守し、体罰・不適切指導を防止する。	(ア) 「体罰防止ガイドライン」を活用した校内研修を実施し、教員間の共通認識を深める。 (イ) 「校内研修ツール」のチェックシートやワークシートを使用することで、事故防止会議の効果を上げる。 (ウ) 校内の生徒指導体制を見直し、複数の教員で生徒に対応するように配慮する。 (エ) 部活動指導等に対して、教員同士が自由に意見交換できる関係を築く。	○「体罰防止ガイドライン」等を参考に不祥事防止会議を行い、体罰防止への認識を深めた。 ○部活動や生徒指導等では、複数で生徒に対応するように指導した。 ○部活動の顧問会議等で部活動運営について横の連携を図った。 ○県の作成した体罰のチェックシートを使い、自分の行動を確認し、予防に努めた。 ○顧問同士、お互いに声を掛け合う環境づくりを行った。
4	調査書・通知票等の作成、成績処理に係る事故防止	成績処理や調査書作成等での事故やミスが起こらないよう複数チェック体制を構築するとともに、点検する自覚を持つ。	(ア) 成績処理支援システム入力時の適切な操作及び複数による点検を徹底する。 (イ) 調査書・通知表の作成、成績処理について校内マニュアルを整備し、職員の遵守を図る。 (ウ) 時間的にゆとりを持って計画的に業務を行う。	○成績処理マニュアルを遵守し、計画的に確実に複数の人員により確認作業を行い、事故なく処理することができた。 ○成績処理シートの確認作業をマニュアルに加えて、個人、各教科で事故防止に努め、最終的に管理職点検を計画的に行った。

5	個人情報等管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の取り扱いについて最新の注意をはらうとともに、その流出を未然に防止する。	<p>(ア) パソコンや外部記憶媒体などでの個人情報の取扱いについて職員に徹底する。</p> <p>(イ) 個人情報持ち出しについて、管理簿による管理と校長の許可を徹底する。</p> <p>(ウ) 携帯電話の取り扱いに十分注意し、パスワードを設定し、個人情報保護を徹底する。</p> <p>(エ) 紙媒体の個人情報についても、所定の場所に施錠して保管する。</p> <p>(オ) 重要文書保存期間を適切に管理し、保存期限を過ぎた文書は適切かつすみやかに廃棄する。</p>	<p>○個人情報や成績等に関する書類について引き続き、施錠ができる場所に安全に保管した。</p> <p>○個人情報の持ち出しについては管理簿で管理職が徹底を図った。</p> <p>○行政文書の保存期間を管理簿で確認し、適切な処理を行った。</p>
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員としての自覚を持ち、交通法規を遵守する。	<p>(ア) 教育公務員としての自覚を職員に徹底するとともに、交通法規に対する認識を高める。</p> <p>(イ) 飲酒運転については、絶対にしないように注意を促すとともに飲酒後の対応の徹底を図る。</p>	<p>○不祥事防止会議、朝の打ち合わせを通じて事例を交えて研修等を行い、職員の教育公務員としての自覚を高めた。</p> <p>○総合教育センターより講師を招き、交通安全と交通法規遵守について研修や意見交換を行い意識を高めた。</p>
7	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員がお互いに積極的にコミュニケーションを図れる風通しのよい職場作りを行う。	<p>(ア) 「ほう・れん・そう」の徹底を図る。</p> <p>(イ) グループ会議、学年会、教科会を活用し、情報共有を図るとともに業務チェック体制を確立する。</p> <p>(ウ) 「業務マニュアル」を作成し、円滑な業務遂行と引継ぎを図る。</p> <p>(エ) 職員同士の声の掛け合い等コミュニケーションを積極的に行い、風通しの良い職場づくりに努める。</p>	<p>○業務について、前年の反省を踏まえ、グループ会議や学年会議等で、十分検討してから、企画会議や起案することを徹底させた。</p> <p>○職員室でお互いに声を掛け合い、何でも話せる環境づくりに努めた。</p> <p>○個人で業務をすることなく、グループ全体、学校全体で実施する意識づけを行なった。</p>
8	会計事務等の適正執行	様式等を見直すとともに、経理に関する不適切な事務処理を防止する。	<p>(ア) 教員と事務職員、管理職の連携を密にし、執行体制を整える。</p> <p>(イ) 会計事務等の適正執行に係る通知等や基準を認識し、適正な経理処理に努める。</p>	<p>○私費会計マニュアルを基に事務職員と連携し私費・県費等の指導を行い事故防止に努めた。</p> <p>○財務事務調査やPTAによる監査の際に、チェックシートを使い、会計に関する確認を行ない、予防に努めた。</p> <p>○保護者に向けて会計報告を行った。</p>
9	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係るマニュアルや点検体制を整備し、不祥事防止を徹底する。	<p>(ア) 入学者選抜については、マニュアルや点検体制を整備し、全職員がその重要性を理解して事故防止を徹底する。</p> <p>(イ) 時間的に余裕をもって業務進行ができるように計画を立てる。</p>	<p>○入学者選抜においては作業手順のマニュアルを昨年度の反省を踏まえ、再点検を行い、職員全体で確認作業を行い、事故の予防に努めた。</p> <p>○入学者選抜関係の書類の作成についても計画的に複数でのチェックを徹底した。</p>

本年度は県立学校重点課題総点検等の実施結果に基づく執行体制の見直しを行う。併せて、3月に本年度の各目標達成についての自己評価を行い、その結果を次年度のゼロプログラム策定に向けて生かす。

- ・4月24日（金）「教職員のモラルについて」、5月18日（月）「個人情報等の管理、情報セキュリティ対策について」、6月29日（月）「調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止について」、7月22日（水）「体罰、不適切な指導の防止について」、外部講師による不祥事防止研修会（講師 林 康弘（総合教育C））
- 8月31日（月）・テーマ「交通事故・違反等の根絶をめざして」、9月25日（金）「進路書類の作成及び取扱いに係る事故防止について」、10月22日（木）「公務外非行の防止（法令遵守意識の向上）について わいせつ・セクハラ行為の防止」、11月6日（金）「個人情報の取り扱いについて」、11月25日（水）「交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守」、12月18日（金）「会計事務等の適正執行」、1月21日（木）「入選における事故防止」、2月26日（金）「調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止について」、3月22日（火）「公務外非行の防止（法令遵守意識の向上）」をテーマに全職員を対象に不祥事防止会議・研修会を実施して研修、講習、情報提供、意見交換、チェックシートを使つての確認作業等を行なうことにより、全職員の事故防止への意識が高めた。新聞記事を活用、県のタイムリーな事例を参考に、朝の打ち合わせで職員に報告・啓発・指導することにより、職員の事故防止の意識がさらに深まった。さらに8月に外部講師を招き「交通事故・違反等の根絶をめざして」の研修会を行ない、講義、情報提供や意見交換等を行ない、職員の事故防止への意識がさらに深まった。

3 校長の総括

本校では、不祥事防止ゼロプログラムの年間計画に従って、各月の重点項目を設定し、職員会議に併せて、管理職からの啓発活動だけでなく、テーマに沿って担当グループを決め、職員による職員への啓発活動を行っている。さらに、内容も身近な事例をもとに事故・不祥事のない職場体制の推進と職員一人ひとりの意識の高揚に努めている。また、事故・不祥事を未然に防止するために、朝の打合せ時に県教育委員会等の通知の周知徹底と配布資料を参考に啓発活動をおこなっている。今後も事故防止会議や職場研修の充実をはかりながら、事故・不祥事ゼロの職場を目指して取り組んでいきたい。